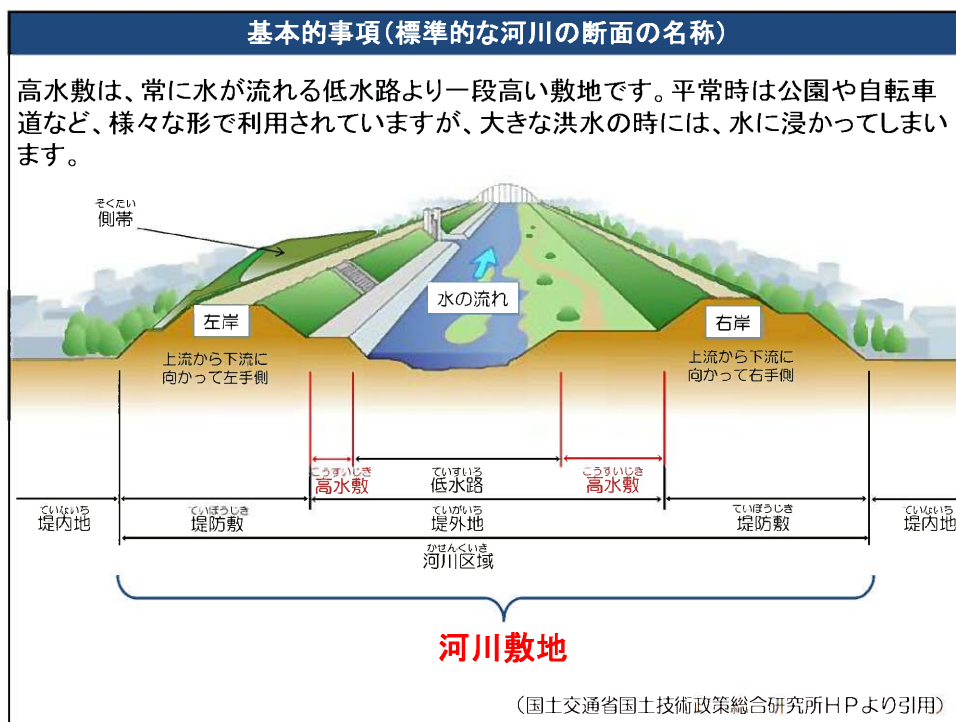


資料－3



基本的事項(河川敷地の占用)

◆河川法の目的

- ・ 治水
- ・ 利水
- ・ 環境

◆河川敷地は・・・

- ・ 川の流れの形成
- ・ 洪水時にはこれを安全に流す
- ・ 洪水による被害の除去、又は軽減
- ・ 河川環境に配慮し、他の利用に支障の無い範囲で一般市民が多様に利用できる

◆河川敷地の占用は・・・

- ・ 治水上又は利水上の支障を生じないもの

かわまちづくり支援制度

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、**実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図る。**

支援制度の流れ

【ハード支援】
まちづくりと一体となった水辺整備を積極的に支援
※レクリエーション性の高い施設は自治体が整備

【ソフト支援】
民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度(河川敷地占用許可準則の特例措置)等を拡充、河川管理者として地域づくりを積極的に支援

※かわまちづくり計画は、水辺とまちづくりに関する基本的な方針、周辺市街地等と一体的な利活用・整備等の計画を定めたものです。認定に際しては、以下の点に着目して行います。

- ① 地域の創意としての「知恵」を活かした計画を対象
- ② 利活用方針が地域において明確となっているもの
- ③ 施設の維持管理に地域の協力が得られるもの

他市の事例(群馬県さくら市)

平成21年5月さくら市かわまちづくり登録 整備期間：平成20年～平成21年迄

氏家町と喜連川町が合併(H17年3月)し、さくら市となり「桜の郷づくり計画」を策定し、当該箇所はさくらの拠点に位置づけられている。また、さくら市建設計画に基づき、河川敷を利用した、ウォーキングや散策が出来るように計画されている。さくら市の鬼怒川沿いには、駅伝大会等で年間73000人の利用がある「ゆうゆうパーク」をはじめ、治水の歴史や自然を伝える拠点等が複数存在し、幅広く水辺利用がされている。この事業では、これらの拠点と河川敷公園を散策路で結び、水辺利用を高めるとともに、市が計画している駅伝大会の拡大や市内の観光資源である喜連川温泉とのネットワーク構築により、市内外からの利用者の増加による地域活性化が見込まれる。

【位置図】栃木県さくら市

サイクリング

桜の自然を伝えるエリア
(ツルビヤツツミの歴史)

桜づつみ沿いの散策

散策路整備箇所

さくら市の取り組み
(整備済)

- ミュージアム
- 河川公園
- 桜づつみ
- 勝山城址公園
- 河岸保全(案内看板設置)
- 桜づつみ延伸
- フットパス内の休憩施設

河川管理者の取り組み

- フットパスの整備
- 坂路、階段の設置

市民、NPOの取り組み

- 自然保護活動
- 河川、公園の清掃
- 外来植物の除去活動
- 説明看板の設置

さくら市駅伝大会

他市の事例(埼玉県草加市)

街なみ・川なみ「今様・草加宿」創出事業【利用推進事業】

当該事業は、綾瀬川左岸に位置する草加市において整備が進んでいる「綾瀬川左岸広域整備事業」(防災公園事業)等と連携して実施される事業であり、急勾配の現状護岸を改良し、災害時に物資輸送等が可能となる防災機能を有する護岸を整備し、地域防災力の向上を図るものである。

「今様・草加宿」事業推進計画

2005年2月21日(読売新聞) 草加宿 現代風に再現へ 同の街を再生・活用

直立護岸の緩傾斜化

他市の事例(京都府南山城村)

目的と必要性

ハード支援整備箇所は、日頃から散歩等で利用されているほか、やまなみホール周辺での「京・むらまつり」等の地域住民手づくりによるイベントのメイン会場として利用され、多くの観光客にも利用されています。また、カヌー体験教室や琵琶湖乗舟の自然体験や釣りなど、河川の自然環境を活かした利用がされています。
 観光住民・ボランティアによる清掃活動や除草作業を実施すると、地元住民が主体となって取り組みが行われています。
 河川へのアプローチするための階段や道路の整備、イベント等多目的に利用できる広場の整備、安全遊びができるせせらぎ水路の整備

南山城村からの要望

- ① 橋点施設と河川を結ぶ遊歩道の整備
- ② 河川へのアプローチのための階段や道路の整備
- ③ イベント等多目的に利用できる広場の整備
- ④ 安全遊びができるせせらぎ水路の整備



ハード支援整備による反映と期待できる効果

- ① 敷設路 (管理用通路)
- ② 階段・道路
- ③ 広場 (高水敷整正)
- ④ 水際整備

村域の誇りを山から占められるなかで貴重なオープンスペースである水辺空間を益満した事により、人々のやすらぎの場・防災訓練の場として機能するような汎用性と利便性の向上、また都市と村の新たな出会いや交流が促進され、河川を利用する機会が増加により、観光効果も活性化するなど期待効果が期待できます。

※ 村が住民からの利用等の要望や意見を取りまとめ河川管理者に伝える

平面図



他市の事例(佐賀県佐賀市)



2012佐賀国際バルーンフェスタ



救助訓練(佐賀県警)



高水敷整備(国の整備)



通路整備(市の整備)



特設駅(JRの整備)



他市の事例(熊本県山鹿市)

位置図

水辺プラザかもと

山鹿市
国道5号
至菊池市

交流施設(自治体の整備)

- ・水辺プラザの整備
- ・河川の利活用(カヌーの貸し出し)、維持管理

水辺整備(国の整備)

- ・水辺空間の基盤整備

他市の事例(大分県大分市)

大分川
乙津川
【水辺整備実施区間】

鶴岡スポーツパーク
水辺地盤
大分県庁

緩傾斜護岸(国の整備)

潜水橋(市の整備)

緩傾斜河岸(国の整備)

整備前(川に近づけない)

→

整備後(川での環境学習の様子)

【国】

- ・緩傾斜護岸・緩傾斜河岸・緩傾斜坂路
- ・管理用通路

【市】

- ・鶴岡スポーツ公園の整備・潜水橋

他市の事例(徳島県美馬市)

【国の取り組み】
 ・親水護岸の整備 ・管理用通路の整備 ・階段スロープ

【市の取り組み】
 ・管理棟、トイレの整備 ・四阿、芝生広場の整備
 ・案内看板の設置

【地元の取り組み】 ・イベントの開催 竹林の維持管理 ・護岸、通路の清掃

親水護岸の整備

管理用通路の整備

管理棟の整備

東屋の整備

芝生広場の整備

カヌー体験

竹炭作り

護岸の除草

他市の事例(三重県伊勢市)

凡例
 ■実施箇所

伊勢市による取り組み
 ■御膳サプラー公園(4ヶ所) 伊勢市立サプラー公園(4ヶ所) 伊勢市立サプラー公園(4ヶ所) 伊勢市立サプラー公園(4ヶ所)

■宮川公園
 河川の自然環境を保全し、市民の憩いの場として整備された公園で、多くの人で賑わう。

■七夕大掃除
 毎年、七夕の晩(白滝日)に、地域住民のボランティアにより、河川沿いのゴミを回収し、河川をきれいに保つ。

■エコキャンドルナイト
 伊勢市では、河川の環境を保全するため、エコキャンドルナイトを開催し、市民の憩いの場として整備された公園で、多くの人で賑わう。

・高水敷整備 (235,700m²)
 ・緑地帯整備 (876m)

・護岸整備 (3,200m)
 ・管理用通路整備

1. 御膳地区
 2. 川端地区
 3. 勢田川地区

他市の事例 (静岡県静岡市)

【国の取り組み】

- ・水辺の楽校
- ・高水敷及び水路の整備
- ・側帯の整備
- ・緩傾斜堤の整備

静岡市中央地区を望む H23.3撮影

①水辺の楽校の整備

- ・高水敷は堤防を防護する役割を有するもの。掘りこんだ池には、かくし護岸を設け高水敷の機能を確保。

②側帯の整備

- ・側帯は洪水時等における非常用の土砂の溜り等のために設置。側帯上の保土についても未流し等水防活動に活用される。

③高水敷水路の整備

- ・堤防沿いの水路は堤防の安全性を弱める恐れ。このため一定の距離距離を確保。

④高水敷整備及び緩傾斜堤の整備

- ・堤防に掘付け工をし、断面を大きくすることにより安全性を向上。高水敷を整備することで洪水の安全な流下を図る。

【市の取り組み】

- ・水辺の散歩道

【地元の取り組み】

木柵による水際整備

育てたアマゴの運搬・放流

安全点検の状況

世話人会総出での整備状況

安全利用の説明

マムシを子供達に紹介

子供達への環境教育

子供達のボート利用を支援

他市の事例 (新潟県新潟市 信濃川下流)

■ 治水安全度の向上と共に豊かな水辺空間の創出

流下能力不足
護岸の老朽化
まちのみどり不足

}

(市民のイメージ)
近づきにくい川

➡

緩やかな斜面
緑地の整備
公共施設との接続
多自然型工法

➡

都市公園
イベント会場
散策・ランニング
市民の憩いの場

■ 実施内容

- 整備にあたり各種委員会を設置
堤防整備後のリバーサイド緑地、自転車道などの計画を学識者や市民から意見交換したり、ゾーン分けをして景観や背後地利用に考慮。
- 市の整備、取り組み
ハード整理: やすらぎ堤緑地、サイクリングロードの整備
イベント等: オープンカフェ、新潟まつり花火大会等

施工前

施工後

緑地・サイクリングロード整備(新潟市) 緩傾斜堤防の整備(国)

他市の事例(秋田県由利本荘市)

「癒しの川」～医療・福祉・市民と連携した河川環境整備～

○市民、医療・福祉関係者、学識経験者、行政等により『癒しの川づくり懇談会』を設立し、河川が人に与える『癒し』や『やすらぎ』を、医療や福祉にも役立てるための水辺整備について検討。
 ○整備後は、近接する病院の患者のリハビリや散策、地域住民の健康づくりの拠点にも活用され、こうした利用に基づき、病院では河川の癒し効果の医学的研究等も行われている。



位置図

利活用のイメージの確立



①水制護岸 ②緩傾斜堤防 ③緩傾斜スロープ ④せせらぎ水路 ⑤水面の利用(船着き場)

水辺とのふれあいゾーン
水遊び・魚釣り

自然観察ゾーン
自然観察・野鳥観察

憩いと集いのゾーン
治療、リハビリ、各種イベントの開催と観覧、ピクニック、河川敷での活動の観賞、休憩、休養、家族連れでの遊び、軽運動(体操) 散策

整備後の状況



一子吉川



本荘第一病院

【ハード】
車椅子対応坂路、緩傾斜堤防、せせらぎ水路、船着場、自然観察ゾーン、散策路

【ソフト】
本荘第一病院によるリハビリ活動、市民による健康講座、癒しのかわづくり検討会

【ハート】
子吉川市民会議によるクリーンアップ、子供の遊び場、ボランティアによるイベントの運営

他市の事例(新潟県関川村)



農業体験の出来る菜園の利用状況



※新たな観光資源として期待されている。

【国の取り組み】
・散策路の整備、緩傾斜の坂路、高水敷の整正




【村の取り組み】
・駐車場の整備、菜園の整備






桜まつり



高水敷ができる菜園



天したもん松まつり



「健康関川21」散策路(ウォーキングコース)の案内看板



灯笼流し



花火大会



散策路(ウォーキングコース)の利用状況

他市の事例(新潟県長岡市)

長岡花火大会

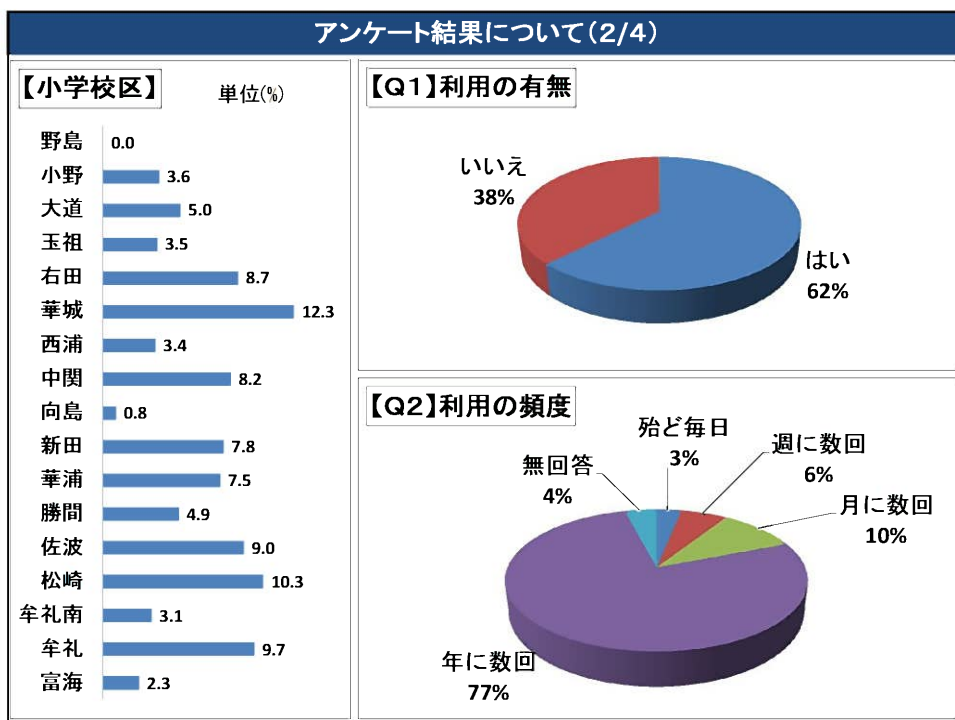
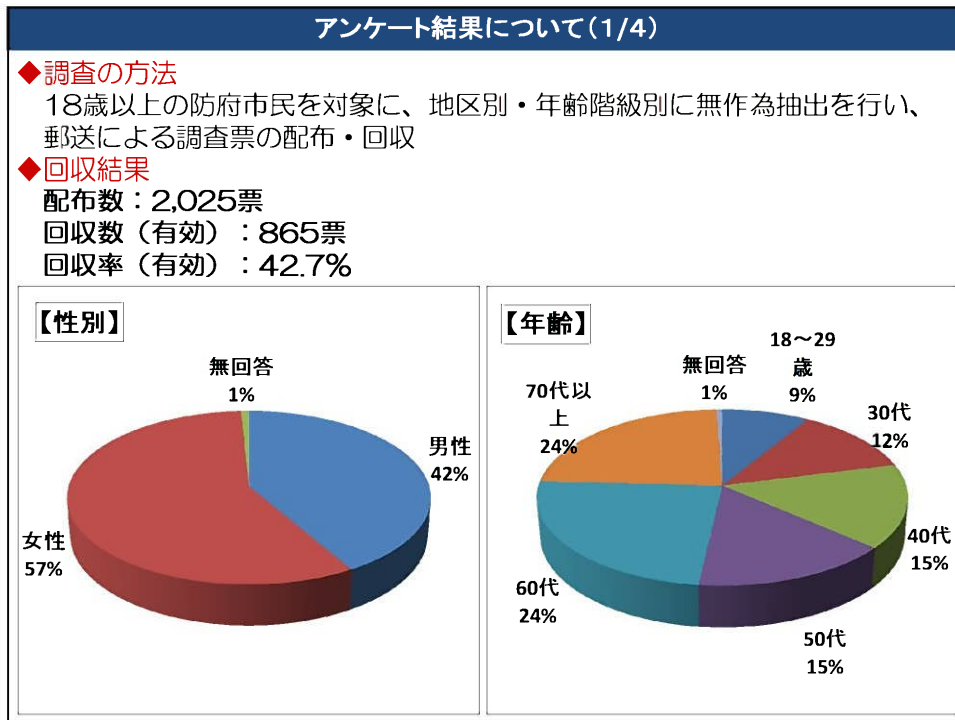
緩くなった堤防法勾配を利用した花火の観覧

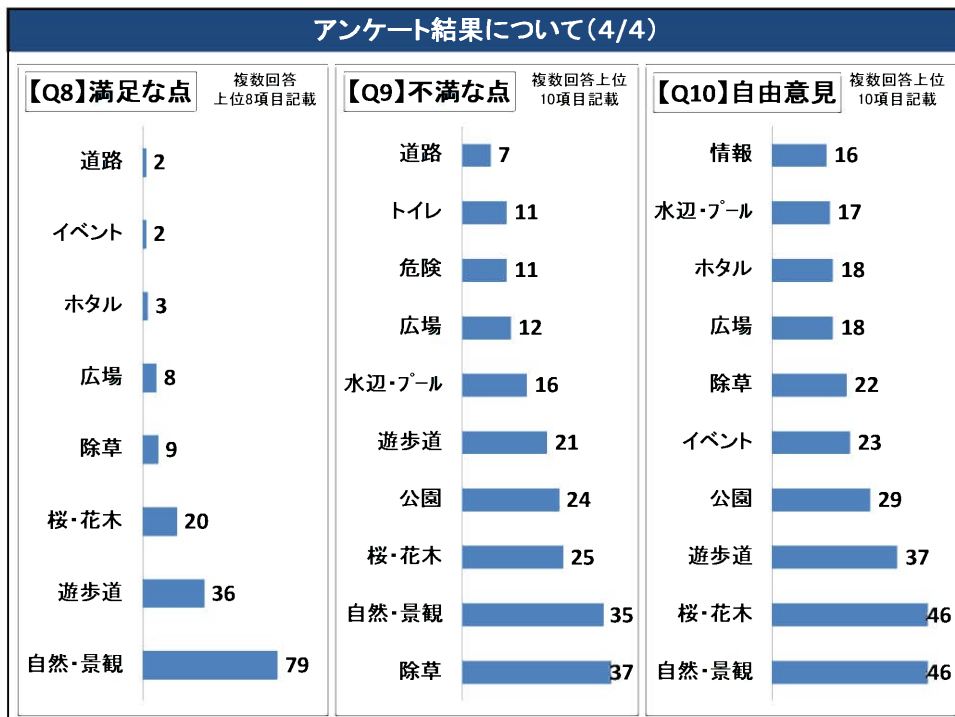
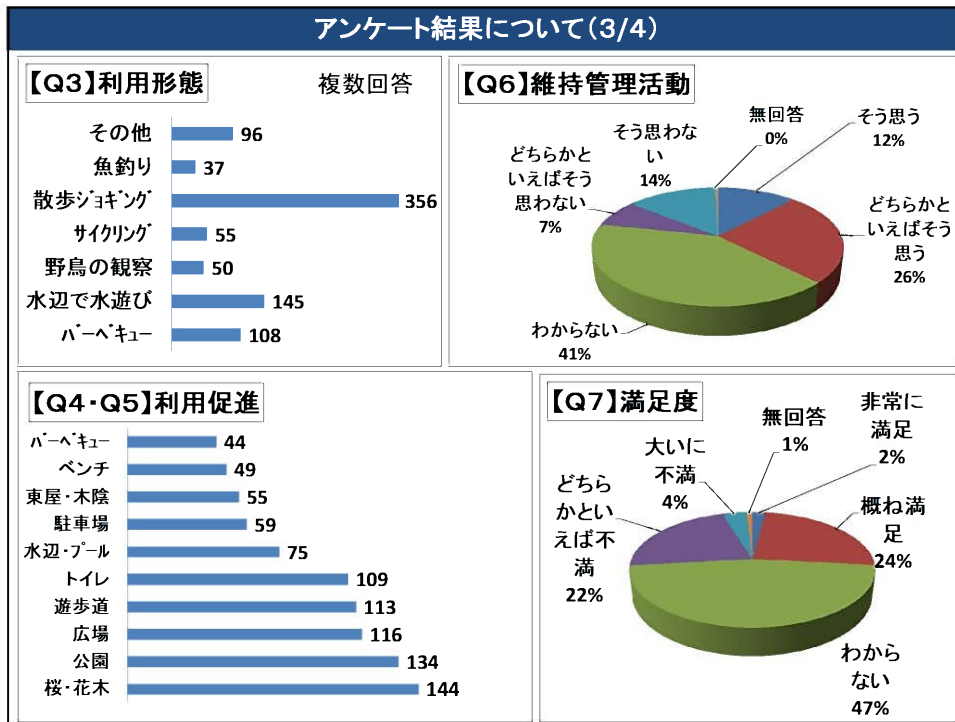
国の整備内容	長岡市の整備内容
・堤防の幅を広げる	・桜づつみ・散策路・東屋の整備
・緩やかな傾斜の堤防とする	・公園整備、背後地からのアクセスの容易さを整備
・河川敷におけるバリアフリー(緩やかな)坂路を設ける	・散策路(歩道)の整備
・堤防の河川敷車道(管理用通路)を設ける	

整備前

整備後

資料-4







参考資料



参考資料



資料－5

今後のスケジュールについて

- ◆平成25年6月 第1回 かわまちづくり協議会
- ◆平成25年7月～8月 かわまちづくり計画ワークショップ(予定)
- ◆平成25年9月 第2回 かわまちづくり協議会(予定)
- ◆平成25年10月 第3回 かわまちづくり協議会(予定)
- ◆平成25年11月 かわまちづくり計画申請書提出
(国土交通省)